

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 20

通学バスの回数券購入事務効率化（袋井市）

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市が運営するバスのうち、一般の市バス（袋井市自主運行バス）の他に児童バスがあり、児童バスで通学する児童が 230 人程度いる。紙の回数券を購入する形式であることから、申し込み、料金の支払い、回数券の発行・受け渡しまで手間が多く、市民と職員双方に負担になっている。
- ・また、近年不注意によるバス車内における児童置き去りになることなどが発生しており、これらの負担を軽減したい。

2. 実現したい目標について

- ・申し込み、料金の支払い、回数券の発行・受け渡しまで網羅した仕組みの構築
- ・バス通学児童の安全面の確保
- ・マイナンバーカードや電子マネーなど既存の仕組みと組み合わせることで、汎用性の高い仕組みの構築。
- ・市民が自立的に行い、行政の事務コストが軽減できる仕組みの構築。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・回数券の負担を減らす技術、アイデア
- ・児童の乗り降りの管理ができるシステム

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

希望時期は特になし。

内容は以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・システムの導入検証

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「袋井の教育 令和3年度」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/material/files/group/70/hukuroinokyoku.pdf>